

23/1/17 天守閣部会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:30

荒川主幹：始める

上田所長：こんにちは  
文化庁から渋谷調査さんが来てくださった  
予算審議で多忙な折、ありがとう  
年度末に近づいており、これまで以上に鋭意努力する

荒川：出席者紹介 構成員、オブザーバー  
教育委員会文化財保護室、竹中工務店、安井建築、名古屋城総合事務所  
前回指摘に対して修正

竹中：資料1 6章冒頭 抜け落ちていた資料を赤字で  
床組の構成  
東面南端部

荒川：意見があれば  
よろしいか  
議事に移る  
基本計画 積み残し 6章

瀬口：議事に移る  
資料2, 資料3を事務局から説明してもらう

荒川：資料2 赤字6章  
8章 2月3月でまとめたい

13:40

竹中：資料3 飾り金具  
外壁  
大阪城 窓の上に外付け板はなかった  
8頁 隠し狭間  
金シャチ  
天井

地階  
畳  
井桁  
明かり取り窓  
小天守  
基礎  
軸組み  
瓦  
水抜き

15:08

瀬口：ありがとう

ご意見いただきたいが、10分休憩した方がいいか？

15時15分から

15:14

瀬口：再開

90分説明 早く中休み入れろという声も

6章 全てが資料で分かるわけではない

判断したところを説明いただいた

荒川：こちらから説明

23頁 小天守柱の寸法

約1寸西側→東側に修正

麓：非常に資料が豊富にある

詳細に検証されている 感心した

これはどうかな 用語の使い方

4頁 7個の検討 六葉紋 内側を直径0.6mm

六つ葵

一般部というか、それ以外

21頁 井桁 宝暦の修理 井筒

井桁＝四方に組む

全体は井筒だと思う

二段井桁 上下二段井桁＝井筒の方がいい

寸法を細かく論理的に構成されている

壁厚 窓下で計算ではそうなる

復元原案ではそれでいいが、計画だと1尺3寸  
34頁 小天守 1分の誤差がある  
施行にあたっては、幅を同じにしてもいいと思う  
全体の考察は素晴らしい

竹中：修正するとともに、拾い出した寸法と、計画寸法が混在 統一したい

三浦：素晴らしい考察ありがとう

名古屋城完ぺきに、正確に復元できることは間違いない  
あえて訂正おこがましい

18頁右下 5階の天井 天井長押→有壁長押としたほうがよりよいかも

24頁左側 (ア) 地下階 礎石があるから土台がある 正しい

25頁右真ん中 地階古写真 縮小してある

元の大きさ 土台がある？写っているはず 板が覆われている？

竹中：有壁長押 地階乾板写真を確認する

瀬口：ほかには

特にないか

愛知県浅岡さんありますか

浅岡：ない

瀬口：文化庁

渋谷：天守閣部会はじめて参加した

精緻な考察をされて、大変素晴らしくまとめられた  
事務局 敬意を表したい

天守閣だけでなく、名古屋城全体を通していえる

資料も多くて、古写真、図面も多い

三浦先生もおっしゃった 復元する上での考察材料は多い

どれを選択して肉付けするか 考察されている

これで、細かいところ

復元に対して全部存じているわけではない

壁の厚さ 数値で出るのは少ない

敬意を表したい

引き続き復元の形を作っていく

実際に建てるのはいろんな条件が出てくる  
これからも検討が必要  
精密な検討ありがとう

古阪：よくやられた

気候変動 ものすごく変わった  
地震 震度5 年に1階  
構造竹中がやる  
歴史的なことをそのまま残していいのか  
中国、韓国は相当困って僕のところに来る  
地震が起こっている そのまま再現  
地球変動の下で大丈夫か？確認してほしい  
いい情報が流れてよかった

瀬口：ありがとう

今日の報告 出した資料 まだ集められていない部分もある  
完全に分かるわけではない 実物がない  
三浦委員言われた 日本でできる最高の復元ができる  
古阪委員 現在の在り方はどうか  
日本を代表する 木造でいえば世界を代表する復元だと思う  
わかりづらいところ 詰めていくことで今後続くであろう歴史的建造物の  
復元に資するだろう  
文化庁に出すのは2-3か月しかない  
ちょっと修正 基本的なところは進めていくことで  
本日出されたものはよろしいか  
以降本年度内にまとめていく  
他の部分 基礎構造 バリアフリー等も8章  
事務局が整理して 天守閣部会で議論していくでよいか  
ありがとう  
これまでの積み重ねが生きる形でやって  
約2時間たった  
なければ終わり

荒川：ありがとう

さらに進めたい  
以上で終わり  
15:33